

～果物の消費行動について～

—『野菜・果物の消費行動に関する調査(2009年調査)』から—

【調査概要】

■調査方法	インターネットリサーチ			
■調査地域	全 国			
■調査主体	社団法人 JA総合研究所			
■実施機関	株式会社 インテージ			
■調査日時	2009年7月23日(木)～7月28日(火)			
■調査対象	全国の主婦・単身者男女			
■有効回答者数	インテージネットモニター n=1,286 単位:人(構成比)			
	合 計	主婦	単身女性	単身男性
	20代以下 158(12.3)	59(6.5)	55(29.1)	44(24.0)
	30代 241(18.7)	185(20.2)	32(16.9)	24(13.1)
	40代 363(28.2)	312(34.1)	26(13.8)	25(13.7)
	50代 273(21.2)	218(23.9)	30(15.9)	25(13.7)
	60代 146(11.4)	90(9.8)	24(12.7)	32(17.5)
	70代以上 105(8.2)	50(5.5)	22(11.6)	33(18.0)
	TOTAL 1,286(100) (100)	914(100) (71.1)	189(100) (14.7)	183(100) (14.2)

社団法人 JA総合研究所(略称:JA総研、所在地:東京都千代田区)は、生産農家等の生産・販売計画作成の参考となるデータを提供するため、農畜産物に関する消費者の購買行動・食品に関する知識・嗜好などを調査・分析しています。

今までに公表した調査:

- ◎「米の消費行動に関する調査」(平成20年3月公表)
- ◎「野菜の消費行動に関する調査」(平成20年6月公表)
- ◎「米の消費に関する調査」(平成20年10月公表)
- ◎「肉の消費行動に関する調査」(平成20年11月公表)
- ◎「果物の消費行動に関する調査」(平成21年2月公表)
- ◎「米の消費行動に関する調査・2009年調査」(平成21年6月公表)
- ◎「野菜の消費行動について」(平成21年8月公表)

調査結果は、JA総研のホームページ(<http://www.ja-so-ken.or.jp>)でご覧いただけます。

～本件に関するお問い合わせ先～

社団法人 JA総合研究所 基礎研究部 主席研究員 濱田亮治 TEL 03-5214-0841

<調査結果のまとめ>

97%の人が果物は好き。それでも毎日果物を食べている人は3割にとどまります。果物を食べる機会は年代が若いほど少なく、20-30代の半数近くは週に1日以下しか果物を食べていないのが実情となっています。

果物を食べる頻度や量については、「満足/まあ満足している」と「もう少し/もっと食べたい」人がほぼ半々。「もう少し/もっと食べたい」人に果物をもっと食べるようになる“きっかけ”を聞いたところ、7割超が「果物の価格が安くなれば」と回答しており、安さへの期待が大きくなっています。また、4人に1人は「自分の食習慣が変われば」と食習慣に課題を感じている人も多い結果となりました。

1回に買う果物の金額は、500円以内との回答が8割を超えています。果物を買う回数は週に1~3回が中心で、週当たりの購入金額も半数以上の人々が500円以内となっています。

果物がある食卓風景に対して「子供が笑顔になる感じ」を持つ人が20-30代では45.5%に上ります。これから、ミカンやリンゴが豊富に出回る時期を迎えます。子供と一緒に、リンゴのうさぎや木の葉切りに挑戦したり、果物を使ったお菓子作りを楽しんだりするのもいかがでしょうか。

●果物は好き？ 嫌い？ …“嫌い”は少数派、女性は“好き”の程度が高い

97%の人が「好き」「どちらかと言えば好き」と回答。「嫌い」「どちらかと言えば嫌い」は少数派。女性は「好き」の割合が高い。

●果物を食べる頻度は？ …「ほぼ毎日」は約3割、年代間の差が大きい

野菜を「ほぼ毎日」食べる人は約3割。20-30代は13.8%、60代以上は51.4%と年代間の差が大きい。20-30代のほぼ半数は果物を食べるのは「週に1日以下」。

●果物の購入先は？ …買い物の利便性から、「スーパー」が圧倒。

「スーパー」で果物を購入する人は97.0%、2位の「青果店／八百屋」(30.0%)を大きく引き離す。「スーパー」で買う理由は、「果物以外の食材の買い物が一箇所で済む」が突出。

●果物の買い物回数、1回に買う金額は？ …1回の購入額は500円以内が8割超

果物を買う頻度は「週に1回」(35.5%)、「週に2~3回」(31.1%)。1回に買う果物の金額は300円以内が41.5%、500円以内が41.1%で、500円以内が8割超。週当たりの購入金額も半数以上の人々が500円以内。

●果物の購入時に重視する点は？ …“鮮度”“販売単価の安さ”が半数を超える

重視点のトップ5は、①新鮮さ(61.5%) ②安さ(52.0%) ③旬(42.4%) ④味・食味(33.3%) ⑤特売(31.8%)の順。果物の加工品(ジュース、ジャム)で、「国産の原料を使用」を重視する人は15%前後。

●果物の喫食量の満足度は？ もっと食べるようになるきっかけは？

普段、食べている果物の量や頻度に「満足/まあ満足」は50.3%、「もう少し/もっと食べたい(食べる必要がある)」は49.7%でほぼ半々。もっと食べるようになる“きっかけ”は「果物の価格が安くなれば」が1番、「収入が増えれば」が2番。生活に余裕が出た部分で、果物を購入する人が多いことを示す。

●食卓に果物がある風景に対するイメージは？ …“季節感”“ゆとり”“健康的”が上位に

主婦が、食卓に果物がある風景に対して抱くイメージは、「季節感が増す感じ」(61.8%)、「ゆとりがある感じ」「健康的な感じ」(同率44.9%)がトップ3。上位に“楽しい”“華やか”“カラフル”が並ぶ。20-30代では「子供が笑顔になる感じ」も上位に。

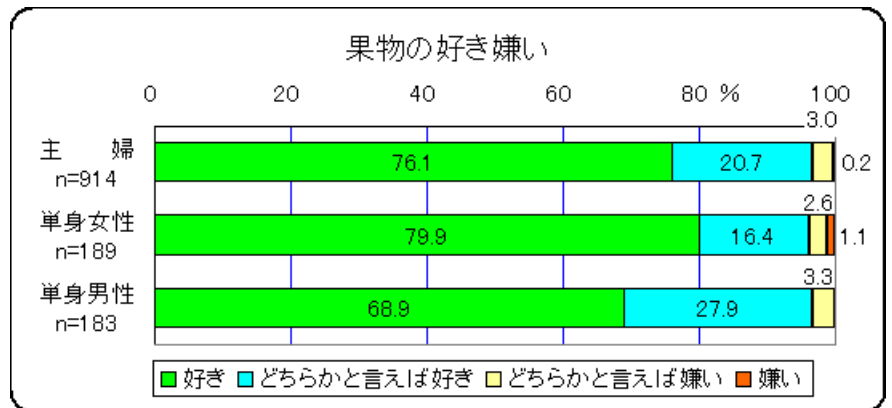
●この人から「もっと食べて」と言われると、果物や野菜を食べたくなる有名人は？

果物・野菜別に男女1人ずつ名前を挙げてもらったところ、果物については、男性有名人「香取慎吾」さん、女性有名人「ベッキー」さん、男女総合では「香取慎吾」さんから「果物をもっと食べて」と言われると果物を食べたくなる結果となりました。野菜については、男性有名人「香取慎吾」さんと「木村拓哉」さんが同票、女性有名人「松嶋菜々子」さん、男女総合では「松嶋菜々子」さんとなっています。

<調査結果の概要>

1. 果物は好き？ 嫌い？ …“嫌い”は少数派、女性は“好き”の程度が高い

果物の好き嫌いを4段階に分けて聞いたところ、「好き」「どちらかと言えば好き」は主婦・単身者とも合わせて97%程度で、「嫌い」「どちらかと言えば嫌い」は数パーセントと極めて少数派となっています。男女別に見ると、女性（主婦、単身女性）は単身男性に比べて「好き」の割合が10ポイント程度高く、女性の方が「好き」の程度が高い人が多いとなっています。なお、男女とも年代間に差は見られませんでした。



2. 果物を食べる頻度は？ …「ほぼ毎日」は約3割。年代間の差が大きい。

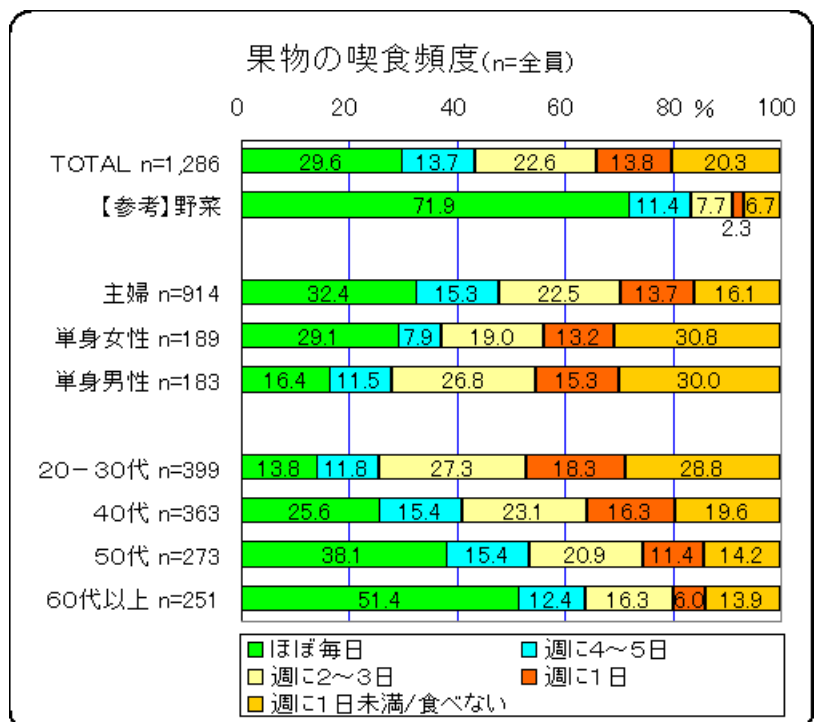
【生鮮果物】

果物をどのくらいの頻度で食べるかを聞いたところ、「ほぼ毎日」食べる人は全体で約3割、ほぼ3人に1人(34.1%)は「週に1日以下」「週に1日」「週に1日未満/食べない」の合計しか食べていない結果となりました。野菜に比べると喫食頻度はかなり低く、習慣的に食べている人（「ほぼ毎日」「週に4～5日」の合計）は、野菜では8割を超えている(83.3%)のに対して、果物は4割程度(43.3%)となっています。

主婦/単身者で見ると、単身者の喫食頻度の低さが目立ち、「週に1日以下」は男女とも45%前後となっています。

また、喫食頻度は年代間の差が大きく、「ほぼ毎日」は60代では半数を超えているのに対し、20-30代では13.8%とかなり少なくなっています。

注)「ほぼ毎日」は「ほぼ毎食」「ほぼ毎日」を、「週に1日以下/食べない」は「週に1日」「月に2～3日」「月に1日程度」「年に数回」「全く食べない」をまとめたもの。

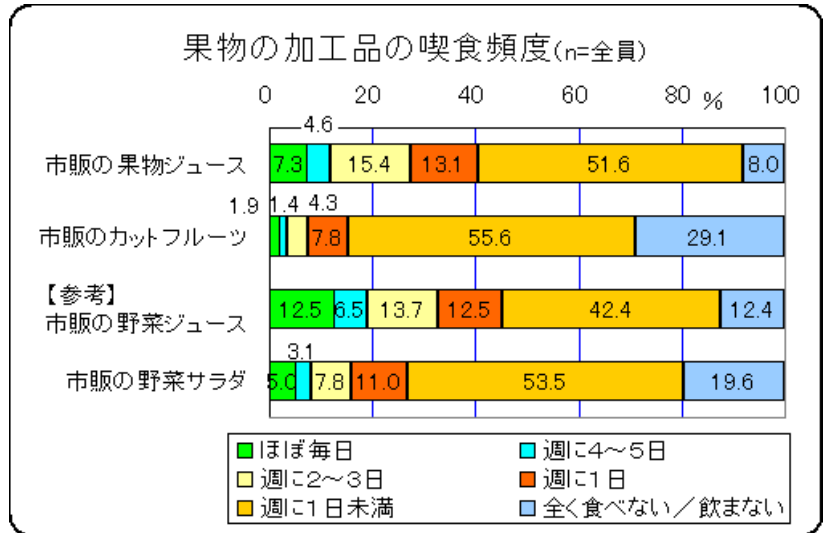


【 果物の加工品 】

果物の加工品(ジュース、カットフルーツ)の喫食頻度は、生鮮果物に比べるとかなり低く、「週に1日未満」しか食べない(飲まない)人が半数を超えています。「カットフルーツ」では3割近い人が「全く食べない」と回答しています。

「果物ジュース」を習慣的に飲んでいる人は11.9%で、「野菜ジュース」(18.0%)に比べると少なくなっています。

同様に「カットフルーツ」を習慣的に食べている人は3.3%で、「野菜サラダ」(8.1%)を5ポイント程度下回っています。



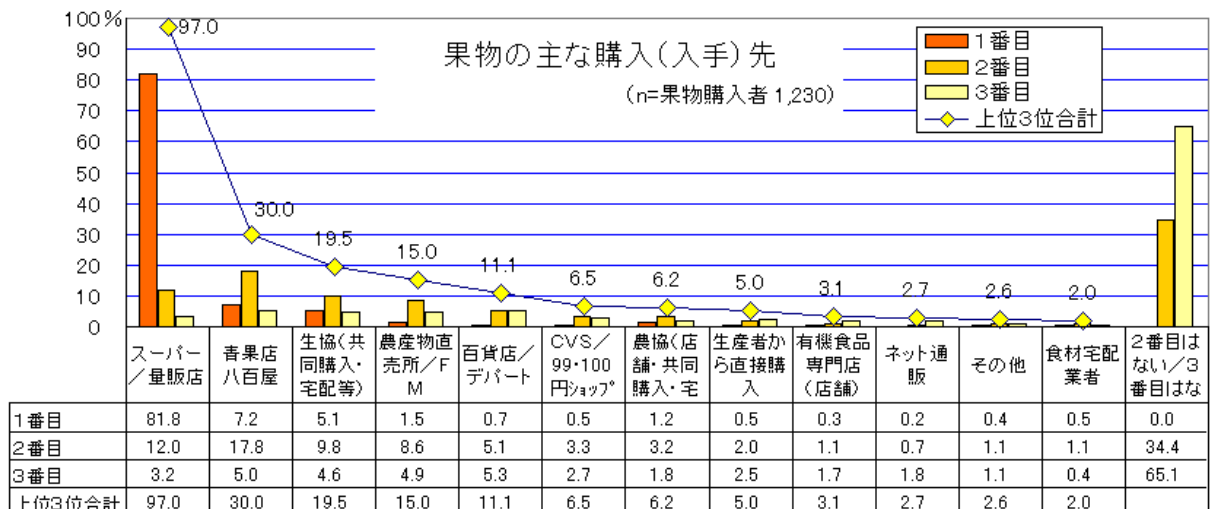
注)「果物ジュース」「野菜ジュース」は、果汁・野菜汁 100%のものに限って聞いた。また、「野菜ジュース」には果汁との混合ジュースを含む。

3. 果物の購入先は？ … 買い物の利便性から、「スーパー」が圧倒。

日頃、果物を購入している人(n=1,230)に、主に果物を購入する場所(業態別、上位3位)を聞いたところ、トップ3は、①スーパーマーケット/量販店(97.0%) ②青果専門店/八百屋(30.0%) ③生協(店舗、共同購入・宅配等)(19.5%)の順で、スーパーについてはほぼ全員が利用している結果となりました。

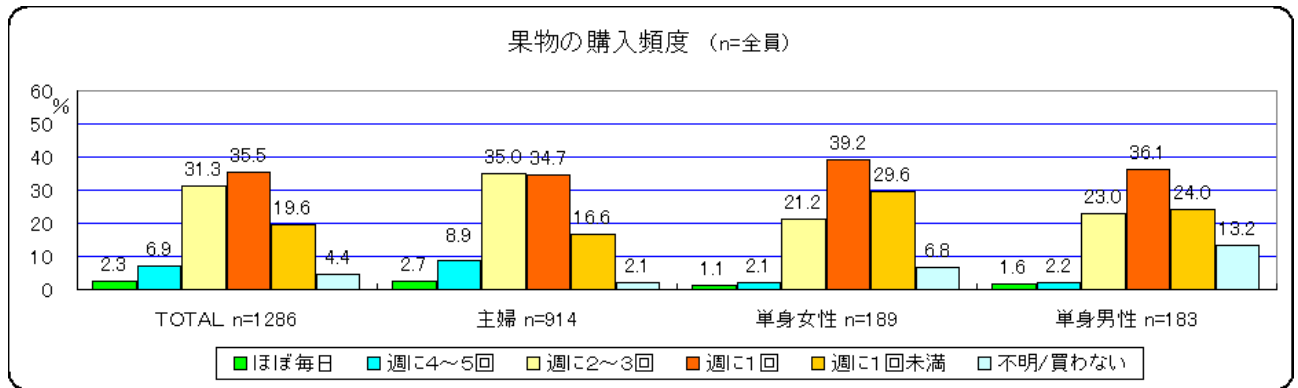
購入先を選定している理由は、「スーパー/量販店」では「果物以外の食材の買い物が一箇所で済む」(88.7%)が突出し、次いで「日常食べる果物がひととおり揃う」(29.7%)が続いています。「青果専門店/八百屋」では「低価格の割には、品質が良い」(34.1%)が最多で、「近所・通り道にある」(33.0%)を僅差で上回っています。「生協」では「買い物が一箇所で済む」(57.1%)に次いで「信頼できるお店だから」(34.9%)となっています。

注) 理由の()内は、購入先の1番目に当該購入先を挙げた人が当該理由を挙げた割合)。詳しくは、報告書P24 参照。



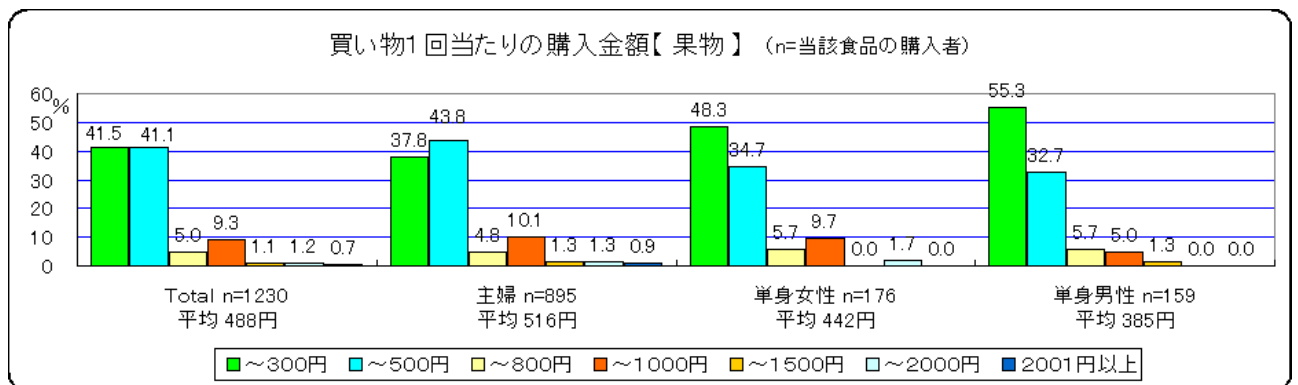
4. 果物の買い物回数、1回に買う金額は？ … 1回の購入額は500円以内が8割超

果物を週に何回程度購入するかを聞いたところ、「週に1回」(35.5%)が最多で、次いで「週に2~3回」(31.3%)・「週に1回未満」(19.6%)・「週に4~5回」(6.9%)・「ほぼ毎日」(2.3%)の順となりました。主婦/単身者別で比較すると、主婦では「週に2~3回」、単身者では「週に1回未満」「不明/買わない」の割合が高くなっています。

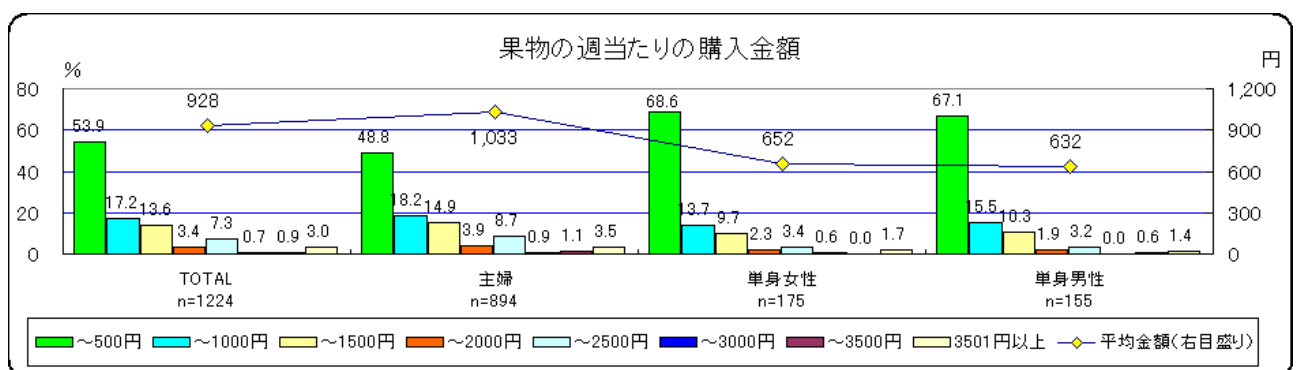


注)「不明/買わない」は「家族等が買い物するので分からない」「この買い物は全くしない」をグループ化したもの。

1回に買う果物の金額を自由回答で聞いたところ、500円以内の金額を挙げた人が8割を超えました。平均値は主婦516円・単身女性442円・単身男性385円、中央値は主婦500円・単身女性400円・単身男性300円となっています。



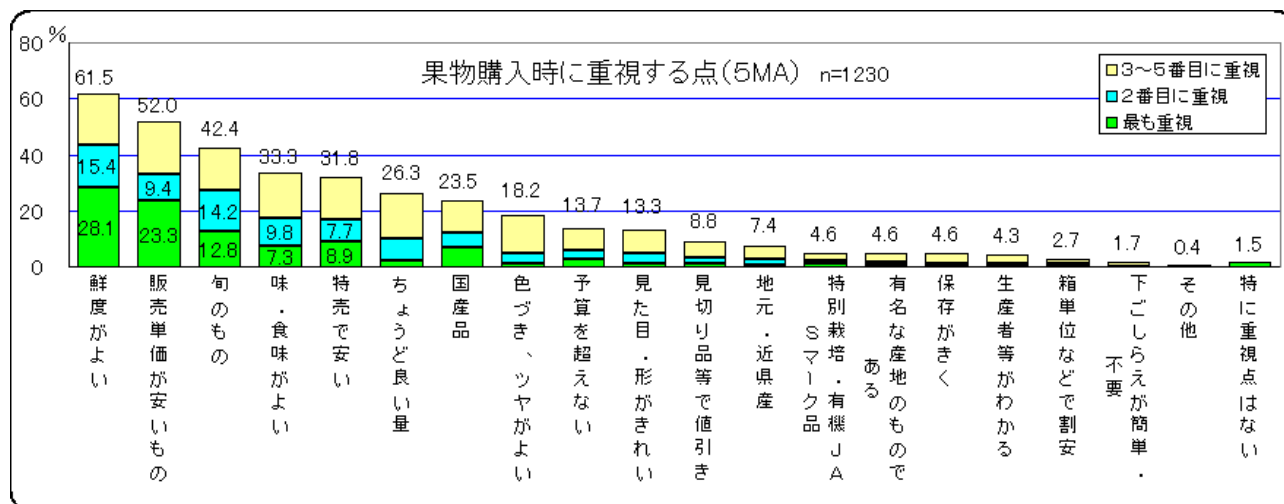
週当たりの買い物回数と1回に買う果物の金額を組み合わせると果物の週当たりの購入金額を算出したところ、500円以内が53.9%と半数を超えました。平均値は主婦1,033円・単身女性652円・単身男性632円、中央値は主婦750円・単身女性350円・単身男性400円となっています。



注) 週当たりの購入金額 = 週当たり買い物回数 × 1回当たり購入金額

5. 果物の購入時に重視する点は？ … “鮮度” “販売単価の安さ”が半数を超える

日頃、果物を購入している人(n=1,230)に、果物を購入する際に重視する点(複数回答、5つまで)を聞いたところ、トップ5は、①鮮度がよいこと(61.5%) ②販売単価が安いものであること(52.0%) ③旬のものであること(42.4%) ④味・食味がよいこと(33.3%) ⑤特売で安いこと(31.8%)となりました。



果物の加工品を購入する際に重視する点では、“味” “低価格” “合成保存料等、無添加” “賞味期限までの余裕” を挙げた人が多くなっています。製造国や原料に関する選択肢(表の※印)を見ると、「国内製造の商品であること」「原料の原産国表示がされていること」「国産の原料を使用したものであること」を重視する人は、どの商品もそれぞれ25%前後・18%前後・15%前後となっています。

単位: 縦%

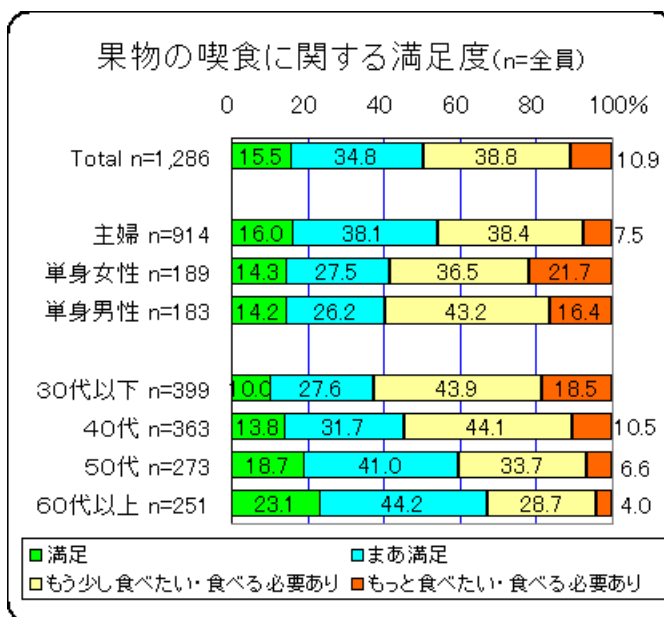
回答者数(日頃、当該商品を購入する人)		果物ジュース 1,212	果物のジャム 1,153	野菜ジュース 1,174
1	味がよいこと	59.9	48.0	65.4
2	価格が安いこと	41.7	32.6	43.1
3	合成保存料・発色剤等が添加されていないこと	28.6	29.2	30.8
4	甘さ控えめであること	24.6	38.0	23.7
5	消費期限・賞味期限まで余裕があること	28.1	27.6	29.4
6	国内製造の商品であること ※	24.0	23.2	25.3
7	使用している原料の原産国表示がされていること ※	17.9	18.3	18.5
8	カロリー控えめであること	15.7	19.4	18.1
9	有名メーカー・大手メーカー品であること	15.8	13.6	19.3
10	国産原料(野菜・果物)を使用したものであること ※	15.2	14.5	16.8
11	特売であること	15.6	12.7	17.6
12	塩分控えめであること	6.8	3.6	18.2
13	1本で野菜○○g分等の表示がされていること	7.8	2.0	12.7
14	野菜や果物の産地で加工製造されたものであること ※	6.8	6.9	7.8
15	PB商品であること	4.0	3.6	4.3
16	見切り品等で値引きされていること	3.6	2.3	3.2
17	高級品であること	1.1	1.6	0.9
18	外国産の商品であること ※	0.8	1.0	0.6
19	その他	0.2	0.2	0.3
20	特に重視する点はない	4.9	5.7	4.2

凡例 ■は各商品の上位5項目

6. 果物の喫食量の満足度は？ もっと食べるようになるきっかけは？

普段、食べている果物の量や頻度についての満足度を4段階に分けて聞いたところ、「満足」（「満足している」「まあ満足している」の合計）は 50.3%、「増やしたい」（「もう少し食べたい／食べる必要がある」「もっと食べたい／食べる必要がある」の合計）は 49.7%と、「満足」「増やしたい」がほぼ半々となっています。主婦/単身者別では単身者で、年代別には年代が若いほど「増やしたい」割合が高くなっています。

果物を「増やしたい」人(n=639)に、どういふ「きっかけ」があれば果物を食べる量が増えるかを聞いたところ、「果物の価格が安くなれば」(73.2%)が突出し、安さへの期待が大きくなっています。また、「収入が増えれば」(31.0%)が2番目にはいっており、生活に余裕が出た部分で果物を購入する人が多いことを示しています。

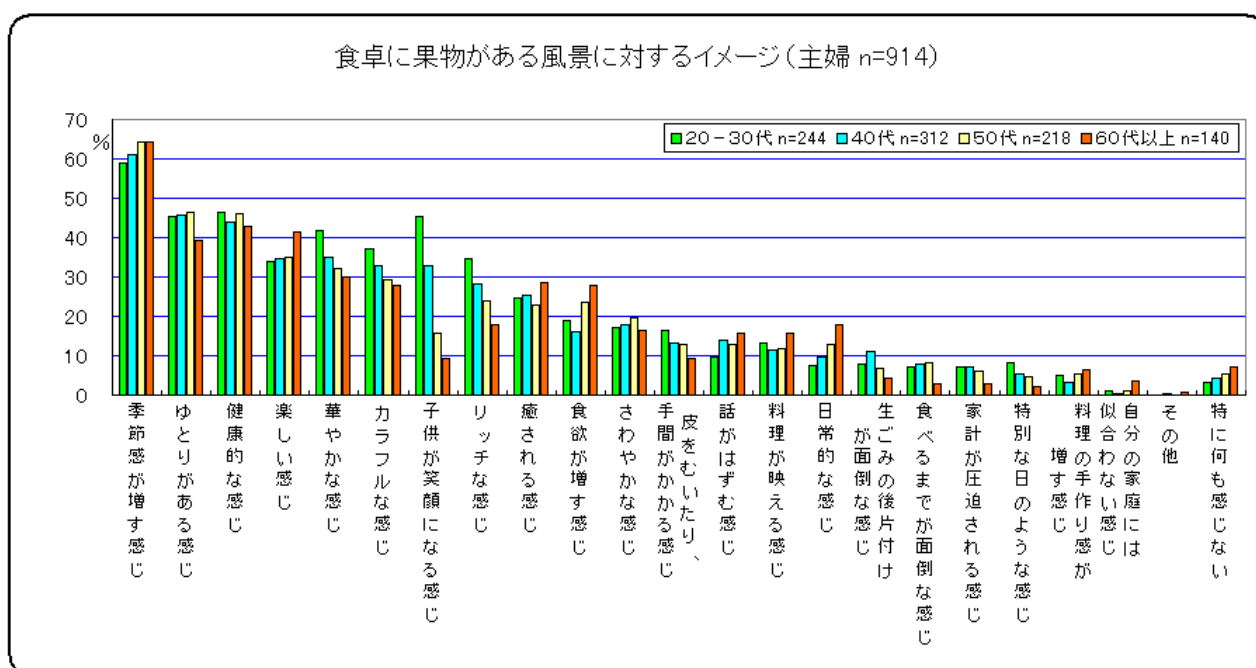


果物をもっと食べるようになるきっかけ	total n=639	主婦 n=420	単身女性 n=110	単身男性 n=109	20	40	60%	80
果物の価格が安くなれば	73.2	75.7	75.5	61.5	73.2			
収入が増えれば	31.0	30.7	36.4	26.6	31.0			
食べたい量だけ果物を買えるようになれば	30.2	27.9	41.8	27.5	30.2			
カットフルーツの価格が安くなれば	30.2	28.3	36.4	31.2	30.2			
皮をむいたり、カットしたりしてくれる人がいれば	24.9	25.0	23.6	25.7	24.9			
自分の食習慣が変われば	23.5	22.4	24.5	26.6	23.5			
果物を使ったデザート類の価格が安くなれば	21.1	20.2	23.6	22.0	21.1			
果物の味に当たりはずれがなくなれば	19.7	23.1	18.2	8.3	19.7			
皮ごと食べられる品種や種がない品種が増えれば	17.8	19.3	19.1	11.0	17.8			
カットフルーツの種類がもっと充実すれば	15.8	14.3	20.0	17.4	15.8			
一緒に果物を食べてくれる人がいれば	15.2	12.4	15.5	25.7	15.2			
外食のセットメニューに果物の選択肢があれば	13.8	13.3	20.9	8.3	13.8			
ファストフード等に果物の手頃な単品メニューがあれば	13.6	12.9	20.9	9.2	13.6			
時間に余裕ができれば／料理をする時間が取れば	13.6	13.1	17.3	11.9	13.6			
果物の安全性がもっと高くなれば	12.4	15.2	10.9	2.8	12.4			
果物をいっぱい使ったデザート類やお菓子が充実すれば	11.9	11.7	14.5	10.1	11.9			
皮をむいたり、カットするのに便利な道具があれば	10.6	10.7	11.8	9.2	10.6			
国産果実のドライフルーツがあれば	8.6	8.3	15.5	2.8	8.6			
購入店で、皮むき・カットするようなサービスがあれば	6.1	6.2	6.4	5.5	6.1			
その他	3.0	3.3	1.8	2.8	3.0			
特に思い当たらない／特にな	3.6	2.9	4.5	5.5	3.6			

7. 食卓に果物がある風景に対するイメージは？ … “季節感” “ゆとり” “健康的”が上位に

食卓に果物がある風景に対するイメージを主婦に聞いたところ、「季節感が増す感じ」(61.8%)が最多で、次いで「ゆとりがある感じ」「健康的な感じ」(同率 44.9%)が続き、上位には“楽しい”“華やか”“カラフル”等のイメージが並んでいます。20-30代では「子供が笑顔になる感じ」も 45.5%と「ゆとり…」と並んで3番目にランクしています。

中には「皮をむいたり、カットしたり手間がかかる感じ」「生ごみの後片付けが面倒な感じ」「食べるのが面倒な感じ」「家計が圧迫される感じ」を持つ人も 6.1%~13.3%いますが、総じて、果物がある風景にプラスイメージを持つ人が多い結果となりました。



	20-30代	40代	50代	60代以上	TOTAL
季節感が増す感じ	59.0	45.5	46.3	34.0	61.8
ゆとりがある感じ	45.5	43.9	34.6	34.9	44.9
健康的な感じ	43.9	34.6	34.9	41.8	44.9
楽しい感じ	34.0	34.9	32.1	29.4	35.6
華やかな感じ	41.8	33.0	33.0	28.2	35.3
カラフルな感じ	37.3	33.0	15.6	23.9	32.5
子供が笑顔になる感じ	45.5	28.2	25.3	16.0	28.6
リッチな感じ	34.8	25.3	16.0	17.9	27.4
癒される感じ	24.6	16.0	13.1	14.1	25.1
食欲が増す感じ	18.9	17.9	13.1	11.5	20.4
さわやかな感じ	17.2	13.1	12.8	11.9	17.9
手間がかかる感じ、皮をむいたり、	16.4	14.1	11.5	9.6	13.3
話がはずむ感じ	9.8	13.1	12.8	11.9	12.9
料理が映える感じ	13.1	11.5	12.8	6.9	12.7
日常的な感じ	7.4	7.8	7.0	7.0	11.1
生ごみの後片付けが面倒な感じ	7.8	8.0	7.1	5.4	8.2
食べるまでが面倒な感じ	7.0	7.1	5.4	3.2	7.0
家計が圧迫される感じ	7.0	5.4	4.6	5.5	6.1
特別な日のような感じ	8.2	3.2	0.3	0.3	5.5
増す感じ	4.9	1.2	0.0	0.0	4.7
料理の手作り感が	1.2	0.3	0.0	0.0	1.2
似合わない感じ	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2
自分の家庭には	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2
その他	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2
特に何も感じない	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2

8. この人から「もっと食べて」と言われると、果物や野菜を食べたくなる有名人は？

この人から「もっと食べて」と言われると、果物や野菜を食べたくなる有名人(注は誰か？ 果物・野菜別に男女一人ずつ挙げてもらいました。

果物についてトップに挙げられたのは、男性有名人では香取慎吾さん、女性有名人ではベッキーさん、男女総合では香取慎吾さんから「果物をもっと食べて」と言われると果物を食べたくなる、結果となりました。野菜については、男性有名人では香取慎吾さん・木村拓哉さんが同票、女性有名人では松嶋菜々子さん、男女総合では松嶋菜々子さんとなっています。

注)歴史上の人物やアニメキャラクター等も含む

果物

果物男女総合

順位	総計 n=1,286	20-30代 n=399	40代以上 n=887			
1	香取慎吾	63	坂口憲二	25	香取慎吾	39
2	坂口憲二	49	香取慎吾	24	木村拓哉	38
3	木村拓哉	48	ベッキー	22	仲間由紀恵	28
4	ベッキー	48	蛭原友里	20	松嶋菜々子	26
5	蛭原友里	40	上戸彩	15	ベッキー	24
6	上戸彩	38	福山雅治	12	坂口憲二	24
7	仲間由紀恵	37	木村拓哉	10	福山雅治	23
8	福山雅治	36	仲間由紀恵	9	上戸彩	23
9	松嶋菜々子	35	玉木宏	8	吉永小百合	21
10	吉永小百合	23	小池徹平	8	蛭原友里	20
			新垣結衣			

総数 508名(組)

野菜

野菜男女総合

順位	総計 n=1,286	20-30代 n=399	40代以上 n=887			
1	松嶋菜々子	66	松嶋菜々子	24	吉永小百合	48
2	木村拓哉	55	香取慎吾	22	木村拓哉	44
3	香取慎吾	55	福山雅治	17	松嶋菜々子	42
4	吉永小百合	52	江角マキコ	16	香取慎吾	33
5	天海祐希	43	天海祐希	15	天海祐希	28
6	福山雅治	42	仲間由紀恵	13	イチロー	25
7	イチロー	37	菅野剛	12	福山雅治	25
8	仲間由紀恵	31	ベッキー	11	高木美保	19
9	高木美保	27	木村拓哉	11	黒木瞳	19
10	菅野剛	25	イチロー	9	ポパイ	19

総数 535名(組)

男性有名人

順位	総計 n=1,286	20-30代 n=399	40代以上 n=887			
1	香取慎吾	63	坂口憲二	25	香取慎吾	39
2	坂口憲二	49	香取慎吾	24	木村拓哉	38
3	木村拓哉	48	福山雅治	12	坂口憲二	24
4	福山雅治	36	木村拓哉	10	福山雅治	23
5	妻夫木聡	22	玉木宏	8	妻夫木聡	15
6	イチロー	20	小池徹平	8	イチロー	14
7	玉木宏	18	妻夫木聡	7	東国原英夫	12
8	小池徹平	16	小栗旬	7	石川遼	11
9	石川遼	16	イチロー	6	玉木宏	10
10	速水もこみち	13	アンパンマン	6	速水もこみち	9

総数 254名(組)

男性有名人

順位	総計 n=1,286	20-30代 n=399	40代以上 n=887			
1	香取慎吾	55	香取慎吾	22	木村拓哉	44
2	木村拓哉	55	福山雅治	17	香取慎吾	33
3	福山雅治	42	菅野剛	12	イチロー	28
4	イチロー	37	木村拓哉	11	福山雅治	25
5	菅野剛	25	イチロー	9	ポパイ	19
6	ポパイ	21	石川遼	7	菅野剛	13
7	石川遼	17	玉木宏	7	みのもんた	11
8	玉木宏	14	アンパンマン	6	石川遼	10
9	みのもんた	12	妻夫木聡	6	渡辺謙	9
10	江口洋介	11	小栗旬	6	ドラえもん	9
	妻夫木聡					
	小栗旬					
	渡辺謙					

総数 276名(組)

女性有名人

順位	総計 n=1,286	20-30代 n=399	40代以上 n=887			
1	ベッキー	48	ベッキー	22	仲間由紀恵	28
2	蛭原友里	40	蛭原友里	20	松嶋菜々子	26
3	上戸彩	38	上戸彩	15	ベッキー	26
4	仲間由紀恵	37	仲間由紀恵	9	上戸彩	23
5	松嶋菜々子	35	新垣結衣	8	吉永小百合	21
6	吉永小百合	23	松嶋菜々子	7	蛭原友里	20
7	黒木瞳	21	藤原紀香	7	黒木瞳	20
8	天海祐希	21	江角マキコ	5	天海祐希	19
9	藤原紀香	16	広末涼子	5	森光子	10
10	綾瀬はるか	12	綾瀬はるか	4	藤原紀香	9
	新垣結衣		相武紗季			
			長澤まさみ			
			安室奈美恵			
			蒼井優			
			井上真央			

総数 254名(組)

女性有名人

順位	総計 n=1,286	20-30代 n=399	40代以上 n=887			
1	松嶋菜々子	66	松嶋菜々子	24	吉永小百合	48
2	吉永小百合	52	江角マキコ	16	松嶋菜々子	42
3	天海祐希	43	天海祐希	15	天海祐希	28
4	仲間由紀恵	31	仲間由紀恵	13	高木美保	25
5	高木美保	27	ベッキー	12	黒木瞳	19
6	黒木瞳	25	長谷川理恵	8	仲間由紀恵	18
7	江角マキコ	24	藤原紀香	7	上戸彩	14
8	ベッキー	23	上戸彩	7	森光子	14
9	上戸彩	21	黒木瞳	6	長谷川理恵	13
10	長谷川理恵	21	山口智子	5	ベッキー	11
			藤原涼子			

12位 吉永小百合 4

総数 259名(組)

凡例: 太字は、総計でトップ3の有名人